

令和6年度 夏休み 社会科研究のお知らせ

夏休み 社会科研究作品づくり について

- 作品の内容
 - ・社会科学習 または 社会科の発展学習
 - ・おかざき学習（徳川家康、大樹寺、志賀重昂、石田茂作など）に関するもの
- 作品の体裁
 - ・ **模造紙1枚半（縦1092mm×横515mm）以内（こえると展示できません）**
（学校で配付された用紙の利用も可）
 - ※模造紙とは「**岡崎市理科部の<自由研究まとめ用模造紙>**」のこと
 - ※市販の用紙を使用する場合は、**このサイズにカット**する
 - ・別添資料で、ノート、ファイル、スケッチブックなどを活用しましょう
 - ・ノートやルーズリーフ等のみでもよい。
- 作品の書き方
 - ・学校で配付される模造紙、ノートの書き方見本を参考にする。
 - ・「**研究テーマ**」「**学校名**」「**学年**」「**名前**」を必ず記入する。
- 個人情報関連
 - ・ **入選した場合、りぶらに展示されることとなります。**
- 提出物
 - ・個人情報・著作権保護承諾書（保護者）
 - ・出展に関する確認書（学校）

ルーズリーフの場合は、バインダ等に必ずとして、表紙を付けましょう。
また、穴をあげ紐を通し、展示長机に固定することを推奨します。

こんな研究作品づくりを目指そう

- ①誰も取り組んでいない独自のテーマを選ぶ。
- ②足で歩いて調べ、自分の目や耳で確かめてある。
- ③何度も調べ、たくさんの資料を集めてある。
- ④学区や岡崎市など身近なテーマや調べがある。
- ⑤調べたことを比べたり関係づけたりして、まとめてある。
- ⑥調べたことの確かさをもとに自分の考えをまとめてある。
- ⑦世の中の課題や今後の社会のあり方について、自分なりの見方や提案が示してある。
- ⑧自分の強い思いや願いが表されている。

過去の作品の研究テーマ

- 小学校** 「あばけ！渡町の七ふしぎ」
「みんなが外出しやすい世の中へ」
「防災とげん災について」
「せまりくる南海トラフ大地震 PartⅢ」
 - 中学校** 「浄瑠璃姫の史跡と江戸時代の旅」
- ※研究を通して、「今」そして「これから」を見通すという視点を大切に、取り組もう。
※各学校にある「社会科研究作品展・発表会」の冊子の内容を参考にしよう。

「社会科研究作品展」について

- 展示期間 10月10日（木）9:00 ～ 10月22日（火）15:00
※休館日 月 日はのぞく。
 - 展示場所 りぶら2階ギャラリー
 - ・岡崎市小中学校児童生徒の研究作品を展示します。
 - ・展示された作品には、賞状を授与します。
- ★各学校への最大配付数は、
小学校は3～6年生で1名とし4枚、中学校は3枚となります。

「夏休み社会科自由研究相談会」について

- 期 日 7月22日（月） 23日（火）
- 時 間 14:00～15:30
- 場 所 岡崎むかし館（りぶら1階）
- 講 師 安井 文一 先生 平岩 大督 先生（ともに岡崎市社会科指導員）
- その他
 - ・参加希望者は、上記の時間帯に、岡崎むかし館に来てください。
 - ・事前の申し込みなどの必要はありません。



身の周りの防災から学んだこと

1 ○○小学校 3年 岡崎 北子

2 1 調べてみようと思っ、たわけ

3 学校にいたときに地しんが起きた。4かいにいたので、とてもこ

4 わかった。・・・

5 2 じゅんび

6 カメラ、しゃざいノート、・・・

7 3 方ほう

8 (1) 岡崎市防災課の人にインタビューする。

9 (2) ○○小学校の△△先生に聞いて、学校の防災せつびについて

10 調べる。

11 (3) 自分のひじょう持ち出し品をじゅんびする。

12 4 調べたけっか

13 (1) 岡崎市防災課□□さん

14 地しんのときに気をつける3つのこと

15 □□さん①たおれてくるもの②落ちてくるもの③移動してくるもの

16 の写真※いざというときには、・・・

17 「ひさいした人が一番こまったことは何ですか？」

18 ↓

19 ダンボールで

20 トイレです!! 作ってみたトイレの写真

21 ・その理由は、・・・

22

23 (2) ○○小学校△△先生

24 ○○小学校には、8カ所

25 △△先生 いざというときのために

26 の写真どがある。

27

28 ・気づいたこと トイレの問題

29

30 (3) 自分のひじょう持ち出し品

31 ひじょう持ち出⇒賞味きげんを

32 しバッグの中身のは、ておくと、

33 写真 交かんする時期

34 が分かりやすい。

35

36

37

38 5 分かったこと

39 この研究をして、ひさいした人が一番こまっていることに気づく

40 ことができた。しんさいを人専ではなく、自分の身近なこととして

41 考え、家族と防災について話し合うことができてよかった。次は、

42 電気や水道が使えないということが分かったので、そのときのたい

43 おうについて、考えたり、調べたりしてみたいと思った。

44 ※くわしい研究の内容は、別冊ノートをごらんください。

- 研究のテーマと名前
- ・研究のテーマは太い字ではっきりと書く。
 - ・学校名、学年、名前をわすれずに書く。
- 研究したわけ
- ・この研究をしようと思ったきっかけや、研究のもくひょうについてかんたんに書く。
- じゅんびする物
- ・調べるために必要な物や資料を書く。
- 方法
- ・調べたり体験したりする手順を書く。
 - ・インタビューしたときは、「相手」や「聞くこと」を書く。
- 調べたけっか
- ・研究の中心となるところだから、具体的に書く。
 - ・文章とともに、写真や図、グラフなどを入れると分かりやすい。
- 分かったこと
- ・事実と考えたことを整理してまとめる。
 - ・自分の考えを、読み手に伝わるように書く。
- まとめ
- ・研究を通して、学んだことや苦労したことを書く。
 - ・さらに今後研究を深めていきたいことを書く。
- りょう
- ※資料があれば、別にそえる。(ノートやファイルなど)
 - ※ルーズリーフはバインダーにのじて、表紙をつける。
 - ※資料には、学校名、学年、名前を書く。
 - ※もぞう紙は、1枚半以内におさめる。
 - ※見出し(方法、けっかなど)は、変えてもよい。
 - ※外わくは、色マジックでかこむ。



ご先祖様達の中島「耕地整理」

1 ○○小学校 6年 岡崎 南男

2 1 動機

3 祖母から自分のひいひいひい祖父が、中島地区の耕地整理の委員

4 だったと聞き、どんなことをしたのか調べてみたいと思った。

5 2 方法

6 ・悠紀の里民俗資料館のサポーターの方や祖母に話を聞く。

7 ・耕地整理前後の地図や写真などの資料から調べる。

8 ・耕地整理後と現在の地図を比較して、主な道路の様子を調べる。

9 3 調べた結果と考察

10 ①117年前の中島地区耕地整理

11 明治33年(1900)、「耕地整理法」が施行され、農業生産力を高

12 めるため、全国に先駆けて愛知県では初めて中島が耕地整理の大事

13 業に着手した。衆議院議員早川龍介が・・・

14 祖母の家に残っていた記念写真

15

16

17

18

19 ②耕地整理の成果

20 整(1)用水路と悪水路がまざる。・・・

21 理(2)道が曲がっていて細い。・・・

22 問前(3)区画の形状や大きさがバラバラである。

23 題の(4)

24 点(5)

25 改(1)耕作地を整然と区切り、区画面積を・・・

26 良(2)一人あたりの耕地面積が増加した。・・・

27 成後(3)各田に用水路を整備し、・・・

28 果の(4)悪水路を整備して、排水できるように

29 (5)道路をまっすぐ整備し、・・・

30 耕地面積が123%、米は118%、麦は

31

32

33 ③耕地整理の足跡をたずねる

34 大きな 現在の地図

35 道路の写

36 真

37

38 4 まとめ

39 家の周囲や学校への通学路は、117

40 年をして耕地整理した土地なんだと

41 思っているが、便利な産業道路が整備

42 されているのだと考える。・・・

43

44 ※くわしい研究の内容は、別冊1-

○研究のテーマと名前

- ・研究のテーマは太い字ではっきりと書く。
- ・学校名、学年、名前を忘れないように書く。

○研究の動機・研究したわけ

- ・この研究をやろうと思ったきっかけや、研究の目標についてかんたんに書く。

○準備するもの

- ・調査のための資料や、体験に必要なものを書く。

○方法

- ・調べたり体験したりする手順を書く。
- ・インタビューをしたときは、「相手」や「聞くこと」を書く。

○調べた結果

- ・研究の中心となるところだから、具体的に書く。
- ・文章とともに、写真や図、グラフなどを入れると分かりやすい。

○分かったこと

- ・事実と考えたことを整理してまとめる。
- ・自分の考えを、読み手に伝わるように書く。

○まとめ

- ・研究を通して、学んだことや苦労したことを書く。
- ・さらに今後研究を深めていきたいことを書く。

※資料があれば、別にそえる。(ノートやファイルなど)
 ※ルーズリーフはバインダーにとして、表紙をつける。
 ※資料には、学校名、学年、名前を書く。
 ※もぞう紙は、一枚半以内におさめる。
 ※見出し(方法、結果など)は変えてもよい。
 ※外わくは、色マジックでかこむ。

浄瑠璃姫の史跡と江戸時代の旅

〇〇中学校 2年 岡崎 東男

1. 研究の動機
 浄瑠璃姫の史跡が多く残されているのは、昔の旅人が物語の舞台とな、た場所を訪れて、当時の観光名所のようにな、ていたからではないか、という予想を明らかにするため。

2. 研究方法
 ① 浄瑠璃姫ゆかりの史跡などのフィールドワークをする
 ② 図書館Web ページで情報収集をする
 ③ 平成岡崎納札會の三浦さん、山本さんへのインタビュー
 ④ 江戸東京博物館の見学をする

3. 研究内容
 ① なぜ浄瑠璃姫にまつわる史跡が多く残されているのか

写真

説明

② 江戸時代の人々はどのように旅をしていたか
 ・江戸時代は空前の旅行ブームで、信仰目的の旅ならばある程度自由だった。.....

資料

③

④

4. 研究の結論
 ・浄瑠璃姫は、地元の人々の強い語られ、供養塔などに表現され
 ・江戸時代の旅人は、お伊勢参り場所を見るために立ち寄り、に
 ・地元の人々と.....

○研究のテーマと名前
 ・研究のテーマは太い字ではっきりと書く。
 ・学校名、学年、名前を忘れないように書く。

○研究の動機・研究したわけ
 ・この研究をやると思ったきっかけや、研究の目標についてかんたんに書く。

○準備するもの
 ・調査のための資料や、体験に必要なものを書く。

○方法
 ・調べたり体験したりする手順を書く。
 ・インタビューをしたときは、「相手」や「聞くこと」を書く。

○調べた結果
 ・研究の中心となるところだから、具体的に書く。
 ・文章とともに、写真や図、グラフなどを入れると分かりやすい。

○分かったこと
 ・事実と考えたことを整理してまとめる。
 ・自分の考えを、読み手に伝わるように書く。

○まとめ
 ・研究を通して、学んだことや苦労したことを書く。
 ・さらに今後研究を深めていきたいことを書く。

※資料があれば、別にそえる。(ノートやファイルなど)
 ※ルーズリーフはバインダーにとじて、表紙をつける。
 ※資料には、学校名、学年、名前を書く。
 ※もぞう紙は、一枚半以内におさめる。
 ※見出し(方法、結果など)は変えてもよい。
 ※外わくは、色マジックでかこむ。

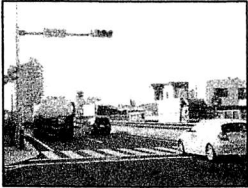
ノートの書き方例 ※ ルーズリーフの場合はバインダー等にはさんで表紙を付けよう

1表紙 写真を入れて飾ろう

2目次 項目を挙げよう

3本文ページ 文章だけでなく、写真や地図、表でわかりやすくまとめよう。

なぜ？姿を消した鉄道
～岡崎の昔を探る～



〇〇〇 学校 〇年
岡崎 光太郎

目次

1 研究の動機	...	1
2 準備するもの	...	2
3 予想	...	2
4 調査方法	...	3
5 調査結果	...	4
6 考察	...	10
7 まとめと反省	...	13

1 研究の動機
私は電車が大好きで...

※ なぜ、調べてみたいと思ったのか、自分と結びつけて書いてみよう。

～1～

2 準備するもの
昔の地形図
今と比べてみるかと...

3 予想
(1) 線路の数が減ったのは電車を使うとが少なくて...

～2～

4 調査方法
(1) 昔の地形図から見つける
(2) 現地に行ってみる
(3) 詳しく知っている人に...

～3～

本文ページ続き 目次に対応するページをノートの下や右上に書いておこう

※ 模型や大きな地図など、ノートとは別に提出する場合には学校名、学年、名前をそれぞれに書くこと。

5 調査結果

(1) 会社Aでは、先鉄の矢作橋駅から会社Aに向かて...

写真

地図

※ 文だけでなく、地図や表、写真などで分かりやすくまとめよう。

～4～

6 考察
(1) ものを運ぶ方法が変わった。
昔はものをたくさん...
※ 5の結果を使ってみんなが「なるほど!」と思うようにしよう。

～10～

7 まとめと反省
今回、このことを調べてみて...
※ よかったことだけでなく失敗したことや、次に調べてみたいことも書こう。

～13～

〇例えば、下のようなことを本文にまとめるとよい。

- 研究の動機・研究したわけ
この研究をやると思った理由や、研究の目標を簡単に書く。
- 準備するもの
調査のための資料や体験に必要なものを書く。
- 予想
自分なりの予想を立ててみると結果と比べやすい。
- 調査方法
調査や体験の手順を書く。文章だけでなく、図や写真を入れていくと分かりやすい。聞き取りをする場合は、相手や聞くことを書くことよい。
- 調査結果
ここが研究の中心になる。グラフや表、図や写真などを入れて、研究結果がはっきり分かるように、しかも見やすく書く。
- 考察・分かったこと
結果から分かること、そこから考えられることをまとめる。自分の考えを読む人にわかってもらえるように書く。
- 反省・まとめ・今後の課題
研究を通して苦労したことや失敗したことなどを書く。また、さらに今後研究を深めていきたいことを書く。

